http：//www.iful-jikeikai.com

ビタミンC 祭ばやし

第53号
平成23年6月1日発行

水無月号

あけぼの　1989年

第53号　目次

■栗林静江 創作キルト展“富士に遊ぶ” 2
■特別養護老人ホームあいふるの里／萩の里 4
■特別養護老人ホーム小川の里／瀬音さくら山荘 5
■特別養護老人風の苑マグノリア／養護老人ホーム新和楽荘 6
■小規模多機能ホームあかねぞら大黒恵比須／デイサービスセンター座・柿ノ木 7
■デイサービスセンターしゃくなげ荘／あいふるの里／萩の里 8
■デイサービスセンター小川の里／グループホームそよ風／春風 9
■NHK厚生文化事業団 文庫贈呈式 10
■今昔物語 11
■嗚呼～懐かしの昭和キネマNo.3/編集後記 12

社会福祉法人
愛知慈恵会

↑迫力の作品群にみなさん圧倒されていました。(中には「鳥肌が立つぐらい感動した」との声)

創作キルト展 栗林静江 富士に遊ぶ

開催期間 平成23年1月30日～2月2日

関係各位が大絶賛の4日間

この度ご縁をいただき、日本トップクラスの創作キルト作家栗林静江先生が手懸けられたキルト作品群を当法人に譲渡・維持・管理させていただくこととなりました。作品数は38点にのぼり、一貫して富士山をテーマに栗林先生が半生を懸け創り上げられた一連の作品群です。維持・管理場所が栗林先生及び作品ゆかりの地である静岡県から愛知県へ変わるこの期に、一連の作品を展示しようと、様々なご支援のもと静岡県コンベンションアーツセンター(通称：グランシップ)にて開催致しました。

一点が二畳はあろうかという大作群が掲げられた会場は、例えようのない迫力が満ち、作品を間近にした方々の心を魅了し時間を止めていました。

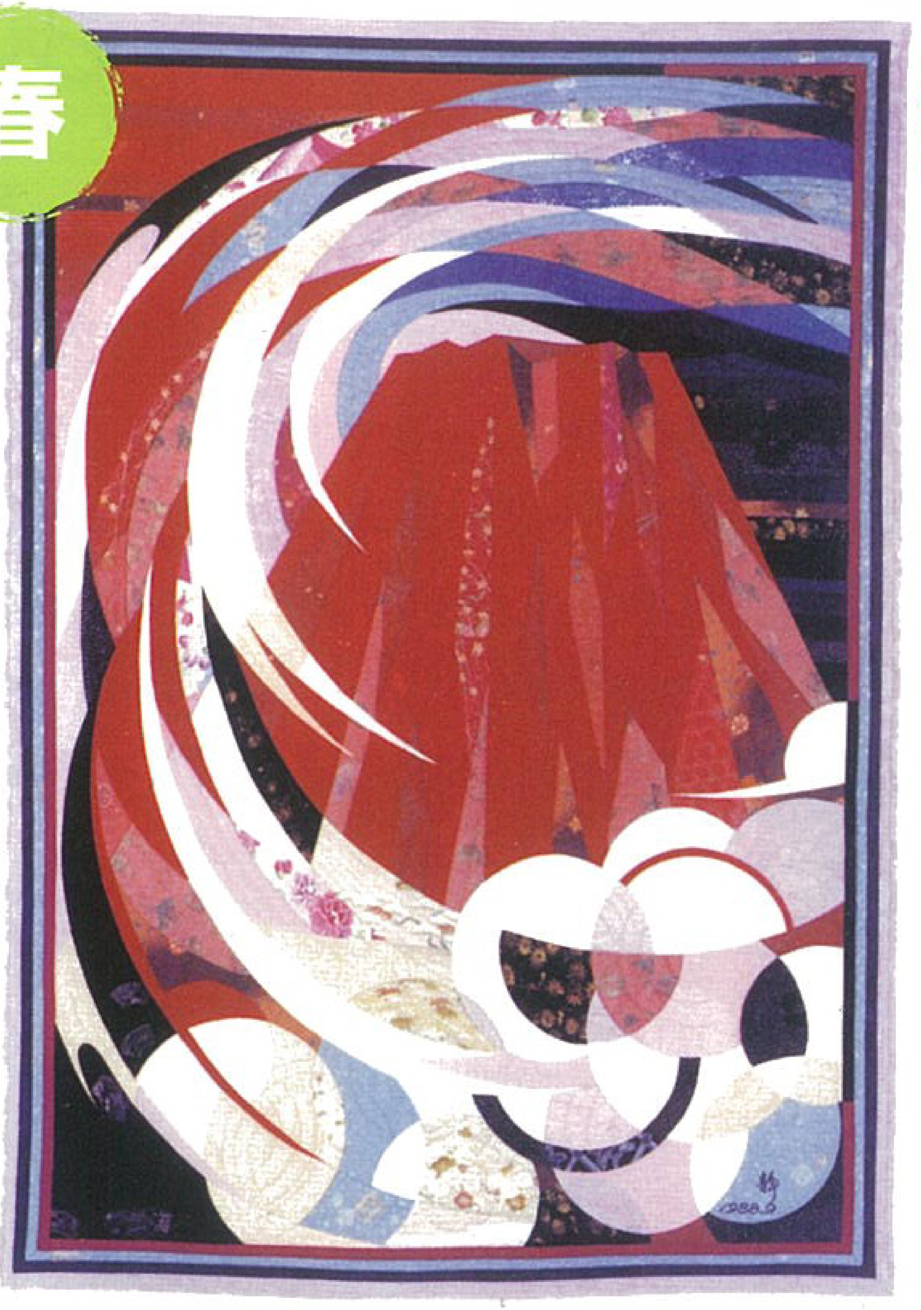
開催期間中の4日間にご来場いただいた方々は、こちらの予想を超え延べ1600名となり、人が人を呼ぶとは正にこのことと、作品を間近にした方々が受けた感動の度合いがはかれました。

また、テレビや新聞へも多数取り上げていただき有り難い限りです。キルトは法人の宝として末永く大切にさせていただく所存でございます。

文末となりますが、ご縁並びにご支援をいただき、また貴重な経験をお与えいただきましたNHK厚生文化事業団中部支局長　安藤昇様、静岡県女流美術協会代表栗林のぶ様へ深く感謝申し上げますとともに、栗林静江先生へ衷心より御礼を申し上げます。有り難うございました。

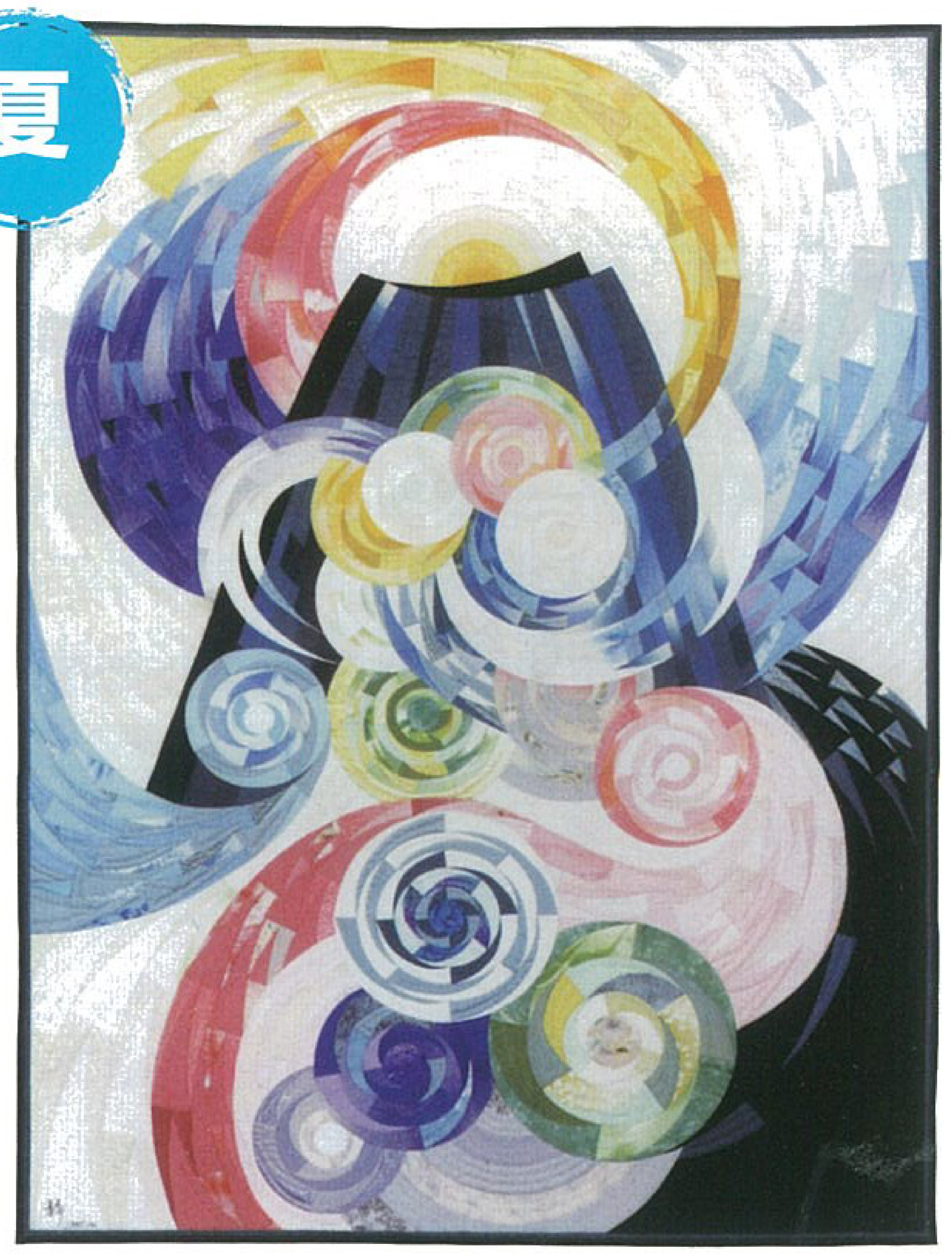
なお、高齢者福祉施設小川の里(愛知県安城市)にて常設展示ギャラリーを設ける予定です。お近くにいらした際は、ぜひお立ち寄り下さい。

春



風の富士(2)　1988年

夏



富士、雲を創る　1995年

秋

秋日和　1991年

冬

名残雪　1992年

プロフィール

栗林 静江 先生

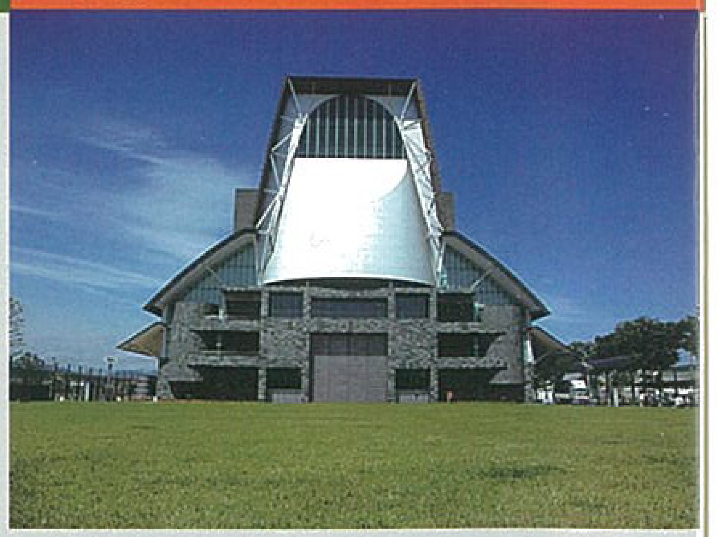
静岡県御前崎市に生まれ、現在静岡市に在住

・1970年代よりアメリカンパッチワークを始め、
以降絹和服地を素材とした独自の技法を確立
創作パッチワークキルトのテーマは、一貫して富士山
また、俳句へも芸術域を拡げる。俳号「沖はるか」

・日本美術展覧会(日展)入選2回
日本現代工芸美術展入選4回
富嶽ビエンナーレ展入選4回

他に 静岡県芸術祭、静岡県美術家連盟展、静岡県工芸美術展、静岡県女流美術展、
静岡市美術家協会展など多数の入賞・入選を重ねる

会場



会場となった静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
なぜかダースベイダーに似ている気が・・・

今度は何を作るのか 皆さん楽しみにしてみえます!

安城 小川の里
特別養護老人ホーム

小川の里では昨年度より、クラブ活動の充実に取り組んできました。今ではお花クラブ、菜園クラブ、図書クラブ、小物作りクラブと活動を継続しており、ファミリー、スタッフ共にクラブ活動を楽しんでいます。今回紹介するのは小物作りクラブです。今年は3月末まで寒い日が続き、ファミリーもなかなか外に出る機会が持てませんでした。そんな中、暖かい春を待ちながら、施設の中で写真のような小物作りを楽しんでまいりました。また、あるファミリーの娘様に講師として参加していただいており、毎回、季節に合った素晴らしい作品が生まれております。昨年同様に、秋には作品展での一斉展示の予定です。

講師の高津先生、作業療法士、施設ケアマネを中心にファミリーに楽しんでいただいております。

フロント正面の展示コーナーで展示しています。

地域の冬季行事と冬から春に向けて

瀬音 さくら山荘 (白川郷)
特別養護老人ホーム

瀬音さくら山荘では、地域密着ならではの様々な行事があります。冬の間は雪が多くなかなか外出が出来ません。でも地域の方々がたくさん訪問して下さいます。今回はその一部を紹介したいと思います。また、スタッフも様々な行事を施設内で計画しています。

荻町春駒保存会様が訪問して下さいました。

平瀬春駒愛好会様が訪問して下さいました。

餅に入れる栃の実の皮むきを行っています。栃餅を作るにはいくつもの工程があり、餅を作るのにはとても手間暇がかかります。

冬の間の大切な食料です。冬になる前に、このように瀬音さくら山荘の畑で収穫した白菜や赤カブを漬物にして冬の間に頂きます。

節分の豆まきです。スタッフが鬼になります。

桜満開ツアー

あいふみ里
特別養護老人ホーム

138タワーに隣接する「 桜の里 」へお花見に行ってきました。
春のポカポカ陽気に包まれ、絶好のお花見日和!!
満開に咲き誇る桜のトンネルの中をファミリーと散策しました。
桜満開ツアーに参加されたファミリーはとてもにこやかな表情をし、キラキラした眼差しで桜を見つめては喜ばれていました。
口々に「 綺麗だね!」、「 満開だね!」と話しも弾み、楽しそうに過ごされました。

ひな祭り会

萩の里 HAGI NO SATO
特別養護老人ホーム

平成23年3月3日にひな祭り会を行いました。今年は「ボランティア萩」の皆さんにご協力いただき、春のお茶会を行いました。ファミリーも、ボランティアの皆さんがたてて下さった、お抹茶と和菓子を美味しそうに召し上がられ、いつもとは違った雰囲気に喜んでみえました。また、雛壇飾りとの記念撮影では沢山の笑顔を見せて下さいました。

今伊勢公民館祭りにおじゃましました！！

マグノリア
特別養護
老人ホーム

3月6日(日)に今伊勢地区で古くから行われている公民館祭りにおじゃましました。

このお祭りは毎年開催されており、作品展示や地元の演芸クラブや幼稚園・保育園児の踊り等の発表などが行われております。たくさんの地元の方が来場され大盛況な中、主催されている方々のご配慮でステージ近くの大変良い席を提供していただき、観覧させていただくことができました。

いろいろな演目の中で、特にファミリーが喜ばれていたのが幼稚園児の踊りでした。一生懸命歌ったり、踊ったりする姿が大変可愛らしく、感動のあまり涙も流される方もみえました。

新和楽荘 ひな祭り

新和楽荘
養護老人ホーム

3月3日、新和楽荘では、ひなまつりが行なわれました。

新和楽荘の伝統、人間雛 です

最初は、「化粧なんて嫌だぁ～!」と言われていたファミリーもみえましたが、綺麗にお化粧をされて、満面の笑みで過ごされました。

ひな祭りのケーキやひなあられを召し上がられ、とても楽しい時間を過ごされました。

地域密着
地元見どころスポットへGO!!

大黒・恵比須
小規模多機能
ホーム

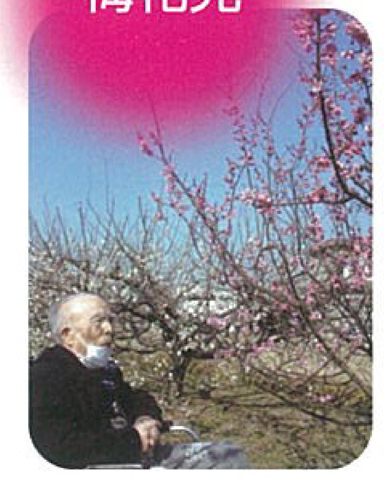
あかねぞら　大黒・恵比須では、ご利用者の地域交流・外出機会の場として活用頂きたく、地域のスポットへのちょっとしたお出掛けを積極的に行っています。

最近では、小規模多機能の名の通り、2～4人の小グループで、足取り軽く、地域のいろんなところへ出没しています。

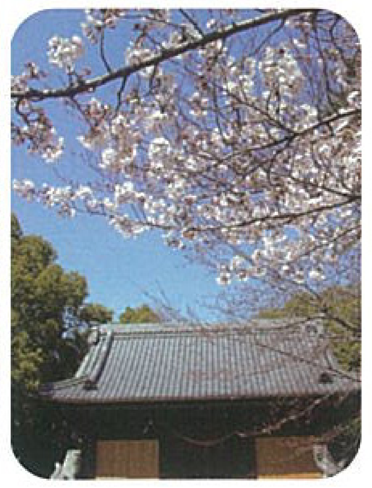
花見シーズンでは、梅、桜と学区内の梅園や神社へ出掛けました。近所ながらも最近はなかなか行けないご利用者も多いため、「昔は～だった。」と昔話に花を咲かせつつ、花の下でお茶を頂きながら、花を愛でていらっしゃいました。

今後も地域密着として、こんな形のお出掛けをいろいろと企画していく予定です。

梅花見



桜花見



ひな祭り ～春のお祝い～

座・柿ノ木
デイサービス
センター

まだ寒い日が多いですが、日が長くなったり、軒先の花が咲き始めたりと、少しずつ春の訪れを感じ始めた3月、おひな様を飾り、ひな祭りのお祝いをしました。おひな様と一緒に春の花である「 梅 」「 菜の花 」「 福寿草 」も飾りました。福寿草を見たご利用者は、「 うわ～!めずらしいね～!! 」、「 きれいに咲いたね! 」、「 春が来たね! 」と言って喜んでいらっしゃいました。おひな様の思い出を語り合ったり、手作りきなこおはぎを食べたり、ひな祭りの歌をみんなで歌ったりして楽しみました。

デイサービスへ訪問いただいた チビッ子園児のワンショット

しゃくなげ荘
デイサービスセンター

白川村デイサービスセンターしゃくなげ荘は、村内の保育園児が毎月訪問してご利用者の皆様を楽しませてくれます。かわいらしく、微笑ましいショットをご紹介させていただきます。

まずは皆で握手をしましょう!

一緒に「かるたとり」誰が一番とれるかな。

白川村伝統芸能の民謡を、男の子も女の子も一緒に踊って、練習の成果を披露してくれました。傘は子供用サイズで、とてもかわいらしい一コマです。

お花見外出

あいふる里
iFul no Sato
デイサービスセンター

3月末～4月にかけての1週間を利用して、毎日お花見に出掛けました!デイサービスでは、その日の担当スタッフがお花見の場所を決めます。犬山城、スイトピア江南、138タワー、大江川、布袋の大仏様、愛岩神社 …毎年レパートリーが増えていきます。ご利用者も「今年はどこに連れて行ってくれるの?」とお花見を楽しみに待ちわびておられ、時には「○○の場所がきれいに咲いていたよ!」とご利用者から教えていただいた場所に行くこともあります。また、来年も行きましょうね。

ひなまつり

萩の里
HAGI SATO
デイサービスセンター

今年のひな祭りは萩の里の施設内の何処かにスタンプが隠してあり、ご利用者が探してスタンプを押す行事を行いました。広い施設内を一生懸命歩いて探されました。

ここにスタンプを押して、早く次を探しに行かなくちゃ。

綺麗に写ってるかしら?

ゴール♪
スタンプ全部集めたよ。

今日は楽しいひな祭り

安城
小川の里
高齢者福祉施設
デイサービスセンター

3月3日はひな祭り!
という事で、皆さんにお内裏様、お雛様に扮装していただきました。
最初は「嫌だ～」「恥ずかしい」などの声が多かったのですが、
いざ衣装に着替えて雛段の前に
来られると、皆さん自然と笑顔に。(＾o＾)
これからも、季節を感じられる記念写真を残していきたいと思います。

桜が咲きました!

田苑そよ風
グループホーム

一見、本物にも見えるこの桜、なんと実は紙粘土で出来ているんです。

3月末に開かれた家族会に向けて、皆で力を合わせて一枚一枚手作りしました。家族会当日は満開の桜の下で京風懐石を頂きました(こちらも勿論手作りです)また本物の桜を見に清洲城まで出掛けたりと、賑やかな春を過ごしています。

田苑春風の季節行事

田苑春風
グループホーム

平成23年、新しい年が明けました。
田苑春風では、四重のおせち料理を用意し、皆さんで囲んでいただきました。
その後、近くの神社に初詣に行ったり、小川の里が地域の方と作った“桜井凧”の展示会を見に行ったりしました。
2月、田苑春風に赤鬼がやってきた(!?)ため、しっかり鬼払いをし、
3月にはこの地域で食べられる“おこしもの”を作り、
ひな祭りのお祝いをしました。
冬は外出の機会が少なかったですが、施設の中で
季節の行事を行い、四季の移り変わりを感じて
いただけたのではないでしょうか…

NHK厚生文化事業団
文庫贈呈式

平成23年3月30日

ＮＨＫ厚生文化事業団中部支局による文庫贈呈「NHKチャリティー展文庫」とは

昨年11月に名古屋三越にて開催されたNHKチャリティー展（約400名の画家・陶工芸家が参加）の収益による福祉への寄与活動です。

この度、ＮＨＫ厚生文化事業団中部支局様のご厚意により、高齢者福祉施設小川の里へ多数のＤＶＤをご恵贈いただきました。

式典では、東日本大震災へ黙祷を捧げた後、ＮＨＫ厚生文化事業団中部支局長　安藤昇様よりご挨拶をいただき、谷川理事長より感謝状を贈呈させていただきました。

又、剣持雄介様、さやか結様による記念公演が開催され、津軽三味線、民謡等、ユニークなトークで楽しいひとときを過ごす事ができました。

ご恵贈いただいた54タイトル、計157本にもなるＤＶＤは、どの作品もご利用者に懐かしいものばかり。観賞が楽しみでならないと、皆様思い出話に花を咲かせています。

多大なご尽力を賜りました

ＮＨＫ厚生文化事業団中部支局長　安藤昇様
衷心より御礼申し上げます。

記念公演をご開催いただきました

剣持雄介様（民謡歌手・津軽三味線名奏者）
さやか結様（ＮＨＫ名古屋放送局「さらさらサラダ」キャスター）
衷心より御礼申し上げます。

贈呈式典に駆けつけていただきました

安城市保健福祉部長　成瀬行夫様
ＮＨＫ名古屋放送局副局長　松裏宗弘様
社団法人日本画府副理事長　青木九仁博様
感謝申し上げます。

今昔物語 第13回

ここでは、「今昔物語」と題しまして、
ご利用者の歩まれた様々な人生にスポットを当て、
若かりし頃の思い出や、現在の生活を語っていただきます。
今回は、新和楽荘のご利用者、**沢田 みね**さまにお話を伺いました。

沢田みねさんは、大正６年３月11日に愛知県西尾市でお生まれになり今年で94歳になられます。

子供の頃は、お手玉やまりつきなどで遊ばれ、とても大人しい、引込思案の少女だったようです。

学校を卒業後、製糸工場で女工として働いてみえました。人一倍努力家で、一等女工になられ、がんばってみえました。

20歳の時、お見合いで結婚され、５人のお子様にも恵まれ、主婦業に専念されていました。

長男が17歳になった時、ご主人、長男さん、みねさん三人で"峰毛織"を設立し、40年間営まれました。

現在、新和楽荘に入所され、充実した生活を送ってみえます。入所時、民謡踊りを楽しみにされ、さらにフラダンスに挑戦されています。
年を重ねるごとに、若返っていく様に思います。

祭ばやし
第53号
発行／愛知慈恵会
発行日／平成23年6月1日発行

嗚呼～懐かしの昭和キネマ

今回は昭和時代劇を代表する二代スター萬屋錦之介と大川橋蔵です。
スクリーン狭しと暴れまくる豪快な錦ちゃんに対し、端正なカタナさばきで息をつかせるクールな橋さまと、芸風も対称的ではありましたが、私生活も芸風と同様に対称的な二人でありました。

萬屋錦之介

【昭和7年11月20日～平成9年　享年64(歳)】

歌舞伎界の御曹司として生まれたが、四男であり主役級を目指すのは困難な状況であった。そこへ美空ひばりの相手役としてスカウトされ、梨園に別れを告げ映画界へ。『ひよどり草紙』で映画デビュー。以後東映の看板スターとして日本映画会の全盛期を支えた。『一心太助』シリーズ『宮本武蔵』シリーズは当たり役となり、特に武蔵役はライフワークとなった。豪快で明るい性格から『錦兄イ』『錦ちゃん』と親しまれた。私生活でも有馬稲子、淡路恵子、甲にしき、正妻だけでも美女ぞろい、それ以外でも女性問題で賑わした。豪快な支に家計のやりくりは大変なものであった。三度の結婚莫大な借金、三男の事故死、病気等芸能界では大成功を収めたが、私生活では災難続きのようでありました。６３歳で文化庁から長年の芸能活動を表彰されるが、同年喉頭癌を発症し、NHK大河ドラマを降板、翌６４歳で死去。

大川橋蔵

【昭和4年4月9日～昭和59年　享年55(歳)】

柳橋の芸妓の子として生まれ、まもなく歌舞伎役者（市川瀧之丞）の養子となった。端正な顔立ちと素質で歌舞伎界では認められる存在となった。昭和30年マキノ光雄の誘いで東映入社。デビュー作は美空ひばりとの共演『笛吹若武者』その後、東千代之介、中村錦之介、市川雷蔵と共に『ニスケニゾウ』と呼ばれ映画黄金時代の立役者となっていく。『若さま侍捕物帖』や髪形を総髪にして中性的な主人公を具現した『新吾十番勝負』シリーズなどが当たり役で『海賊八幡船』などの大作もある。本人の素顔は頑固な理論派であったが、美形剣士スターとして娯楽に徹したといわれ、町人やヤクザを演じていても武士のような品の良さを醸し出す演技だった。
私生活では朝丘雪路との噂も報じられたが、祇園で馴染みの芸妓であった沢村真理子と結婚。フジTVの『銭形平次』は長谷川一夫から受け継いだキャラクターで１８年間８８８回と演じる終生の当たり役となった。銭形平次が終了した昭和59年の暮れ肝臓に転移した癌のため55歳の若さで死去した。

次回は、原節子 vs 高峰秀子です。乞うご期待！

編集後記

次回の祭りばやしの特集として、「のこぎり屋根」の取材に行き、一宮市の歴史に触れました。皆さん、「のこぎり屋根」って知っていますか？尾張一宮が日本一たくさん「のこぎり屋根」があるそうです。
また、ファミリーからも取材で沢山のお話しを聞くことが出来ました。
一宮市の素晴らしい文化を大切にしていきたいと感じ、郷土愛にめざめました。
次号をお楽しみに！

祭りばやし５３号　編集長　A・K

スタッフ募集中

只今スタッフを募集しております!!

介護スタッフ
看護スタッフ
ホームヘルパー
夜勤スタッフ

■お問い合せ
あいふるの里　TEL：0586-78-8441（総務）
萩の里　TEL：0586-68-7311（総務）
小川の里　TEL：0566-73-7011（総務）
新和楽荘　TEL：0586-67-2311（総務）
瀬音さくら山荘　TEL：05769-5-2141（総務）
風の苑 マグノリア　TEL：0586-47-6811（総務）

■詳しくはホームページ
愛知慈恵会　検索　へGO!!
http：//www.iful-jikeikai.com

531800